

# はちのへ 市議会だより

平成18年9月定例

No.54

2006年(平成18年)10月20日発行

編集・発行 八戸市議会 八戸市内丸一丁目1番1号 ☎43-2111 内線407

はちのへ市議会だよりは、市のホームページでもご覧になれます。

<http://www.city.hachinohe.aomori.jp>



## BDF 使用ごみ収集車の出発式

9月4日、BDF（軽油代替燃料）使用ごみ収集車の出発式が行われました。

※このBDFは、家庭から回収された廃食用油から作られています。

平成18年9月定例会は、9月5日から9月22日まで、18日間の会期で開かれ、平成18年度一般会計補正予算、平成17年度一般会計・特別会計・企業会計決算など市長提出議案35件、認定2件、議員提出議案2件を可決して閉会しました。

# 市政に対する 一般質問

財政、観光行政、環境行政、教育行政など、140項目の質問の中から質問議員1人につき1項目を取り上げ、要旨を掲載しました。

## 質問した議員（質問順）

上条 幸哉  
畑中 哲雄  
石屋 俊夫  
大島 一男  
前澤 時廣  
石橋 充志  
松本 真将  
坂本 定博  
五戸 文世  
山名 文博  
松橋 文知  
寺地 則行  
伊藤 圓子

て、当市に最も適した整備方法などを多方面から調査・研究していきたい。

### 小学生の

### 放課後対策の取り組みは

#### 日本共産党議員団

【問い】 小学生の放課後対策の現状と、今後の取り組みは。

【答え】 市では、文部科学省の委託を受け「地域子ども教室推進事業」に取り組み、現在六地域で実施している。

また、厚生労働省の「放課後児童健全育成事業」を二十七か所で「仲良しクラブ」として実施している。

文部科学省では、来年度から、子どもたちの安全・安心な居場所づくりのため、文部科学省、厚生労働省の両事業を一体的または連携した「放課後子どもプラン」を創設することとし、各市町村の教育委員会が主体となつて、地域の大人の協力を得た放課後対策に取り組むよう提言しており、市としても、この提言は地域の子どもの地域で育てるという観点から、重要な取り組みであると考え、推進体制な

ど、今後の動向を見守りながら対応していきたい。

### 南郷朝もやの館総合情報館の役割を改善すべきでは

#### 市民政友会

【問い】 南郷朝もやの館総合情報館の役割を、総合的な情報発信をするという本来の趣旨に基づいた形に改善すべきでは。

【答え】 八戸市島守田園空間博物館は、有形・無形の地域資源全体をそのまま博物館として見立て、県事業で南郷朝もやの館総合情報館、館のやかた、水

車小屋、農村公園などの施設を整備したものである。

南郷朝もやの館総合情報館は、これらの中核をなす施設であり、地域住民の活動拠点、伝統芸能や技能などを伝承する研修の場としての役割のほか、博物館の総合案内所としての役割も担っている。

現在、展示スペースには、島守田園空間博物館運営協議会の活動状況を紹介したパネルや伝統工芸品などを展示している。

今後は、各施設の案内はもとより、地域内の自然・歴史・伝統・文化・新たな地域資源などの情報収集、ホームページの開設など、地元や指定管理者と十分連携しながら一体となつて、総合的な情報発信をしていきたい。

### 八戸駅周辺の整備を

#### 社民党・市民連合

【問い】 八戸駅周辺のまちづくりのため、（仮称）八戸西インターチェンジと総合運動公園を建設する考えは。

【答え】 当インターチェンジの設置については、これまで、たびたび関係機関へ要望してきて

### プロ野球を呼べる

### 野球場の整備を

#### 市民政友会

【問い】 県主体による、プロ野球を呼べる野球場の整備に向けて、検討する考えは。

【答え】 野球は昔から多くの人に親しまれ、幅広い年齢層の人が野球競技に取り組んでいる。当市においても、競技人口は相当なものがあり、さらにその競技力は全国レベルに達しているものと理解している。

プロ野球を呼べる野球場の整備は、多くの市民、特に野球競技に取り組む人にとって、レベルの高い一流のプレーを間近で見ることができる貴重な場を提供することになり、競技力のさらなる向上に有意義であると感じている。

プロ野球公式戦を開催している球場と同様の規模での整備となると、県内でも代表的な施設となることから、今後、この野球場の整備構想が具体化してきた場合には、県への働きかけを含め



南郷朝もやの館総合情報館

おり、本年六月に（仮称）八戸西インターチェンジ建設促進期成同盟会を設立し、設置に向けた運動を始めている。

総合運動公園などの整備については、今後、施設整備を具体的に検討する場合、類似施設などの地域バランスに配慮すべきであると考えている。

八戸駅周辺は、新幹線八戸駅に加え、当インターチェンジが整備されれば広域交通の要衝となることから、将来の発展が期待され、新しい八戸の顔、玄関となる地域と認識している。

## 中心市街地再生に向けての今後の取り組みは

公明党

【問い】 中心市街地の再生に向けての今後の取り組みは。

また、（仮称）八戸市中心市街地地域観光交流施設に対する考えは。

【答え】 中心市街地の活性化については、商工会議所と協力してTMOという形で進めており、八戸市行財政諮問会議や商業アドバイザー会議などでのさまざまな議論を踏まえながら、

今後も、行政の力だけではなく、中心市街地の商店の方々や協力し合い、再生に向け取り組んでいきたい。

また、（仮称）八戸市中心市街地地域観光交流施設については、市のシンボルとなり、中心市街地に大きな影響を与えるような施設となるよう、いろいろな意見を聞きながら整備を進めていきたい。

## 予定価格に対する最低制限価格の率の引き上げを

政風クラブ

【問い】 建設産業振興策として、工事入札の予定価格に対する最低制限価格の率を引き上げる考えは。

【答え】 建設業界は、公共工事の減少や景気の低迷など、厳しい経営環境を背景に受注競争が激化し、最低制限価格とほぼ同額の落札価格による受注が増えてきている状況にある。

そのため市では、低価格入札によるダンピング受注の防止を目的として、本年十月以降に公告または指名する工事から、最低制限価格の算定方法の見直し

を行うこととした。

この見直しは、予定価格の六十五パーセントから八十パーセントの範囲の中で設定している率を引き上げるものであり、土木工事では、おおむね五パーセント程度引き上げられるものと試算している。

## 知的障害者・精神障害者の障害程度区分が適正に判定されるための条件の整備は

日本共産党議員団

【問い】 障害者自立支援法における知的障害者・精神障害者の障害程度区分が適正に判定されるための条件は整備されているのか。

【答え】 障害程度区分は、障害者の心身の状況を総合的に判断するものであり、百六項目の調査のほか、特記事項、医師意見書の内容を踏まえ、八戸市障害程度区分判定審査会において判定される。

調査項目には、知的障害者や精神障害者の特性をきめ細かく把握するための項目も含まれているほか、調査項目で把握が困難な事項は、特記事項の内容に

状態が明らかになるよう詳しく記載するようになっていく。

調査は、県の実施する講習会を受講した市職員が、本人からの聴き取りのほか、本人の状況をよく知る家族や施設職員からも状況を確認している。

また、精神障害者については、専門性が必要とされるため、保健師が調査を実施している。

当判定審査会の委員は、医師・精神保健福祉士・看護師など現場で働く人や、障害者の代表で構成されており、中立かつ適正な審査が行われるよう配慮している。

## 市美術館で独自の取り組みを

市民政友会

【問い】 市美術館における独自の取り組みと、学芸員育成のための財政面などの配慮は。

【答え】 市美術館は、地域に密着した美術館を目指し、郷土ゆかりの先人作家や現代作家の作品を中心に収蔵し、それらの優れた作品や功績を紹介する展覧会を開催してきた。

また、美術を愛好する個人や団体の創作発表の場として利用

できる、市民ギャラリーを設置するなど、多くの市民に活用されている。

今後は、地元作家のさらなる人材発掘に努め、市ならではの独自性を持った企画展などを実施していく。

学芸員の育成については、現在、学芸員を育成するための直接的な経費はないが、特別展を企画することなど、実践を通じて育成に努めている。

今後も、学芸員の資質向上を図りながら、子どもから大人まで楽しめる美術館を目指し、市民の知りたい情報や知識習得の場の提供に努めていく。



市美術館

## 八戸漁港検討会議の協議内容と今後のスケジュールは

政風クラブ

【問い】 漁港機能の抜本的な再構築に向け、水産業界と行政が一体となって検討するため設置された八戸漁港検討会議の協議内容と今後のスケジュールは。

【答え】 当会議では、漁船漁業の再生、魚市場機能の衛生高度化及び効率化、水産加工業の振興、八戸漁港のブランドデザイン等の四つの事項について検討することとしている。

第一回の会議では、この検討事項のうち、最初に、魚市場機能の衛生高度化及び効率化について、重点的に検討を開始した。今後も、漁船漁業の再生、魚



八戸港

市場機能の衛生高度化及び効率化、水産加工業の振興の三つの柱について、スピード感を持って検討・対応を進めていくなかで、八戸漁港のブランドデザインを描いていきたい。

### 老老介護の実態と対応は

社民党・市民連合

【問い】 介護負担などから高齢者虐待の原因の一つとなっている老老介護の実態と対応は。また、高齢者虐待への取り組みは。

【答え】 老老介護は、高齢者が高齢者を介護することから、介護負担や経済的問題、さらに虐待などの問題も含んでいる。現在、八戸市地域包括支援センターが、市内十か所の在宅介護支援センターや民生委員などと常に連携を図り、老老介護の実態把握と対応に努めている。高齢者虐待への取り組みについては、昨年度から「高齢者あらしん相談窓口」を設置し、虐待相談に対応している。

また、本年四月の高齢者虐待防止法の施行に伴い、市町村の役割として、虐待を受けた高齢者

の保護や養護者への支援を行っている。

今後も、高齢者が安心して生活を送れるよう、支援体制の一層の充実を図っていきたい。

### 田向土地画整理事業の進捗状況と今後の見通しは

社民党・市民連合

【問い】 田向土地画整理事業の進捗状況と今後の見通しは。

【答え】 田向土地画整理事業の平成十七年度末での進捗率は、事業費ベースで約三十パーセントとなっている。保留地処分については、現計画では事業施行期間である平成二十三年度までに、面積で約十五万平方メートル、金額で約九十四億円分を処分する計画となっているが、現在、面積で約一万平方メートル、金額で八パーセント弱の約七億円にとどまっている。

今後も、土地需要の低迷傾向に変化が見られないことから、厳しい状況が続くものと考えている。

しかしながら、八戸市田向土地画整理組合では、不動産業

者への斡旋依頼制度など、新たな保留地処分の促進策を検討しており、市としても、PR活動の展開や促進策の検討に対する助言を行うなど、今後も当組合を支援していく。

### 地球深部探査船「ちきゅう」による研究成果の展示施設整備を

政風クラブ

【問い】 地球深部探査船「ちきゅう」による研究成果などの展示施設を整備する考えは。

【答え】 当探査船は、多国間国際協力プロジェクト「統合国際深海掘削計画」の主力船であり、現在は、当市の北東約百キロメートルの沖合いで試験掘削を行っている。

この計画では、世界最深の掘削能力を駆使した地球深部の調査により、巨大地震発生のメカニズムの解明など、さまざまな成果が期待されており、採取された堆積物などは非常に貴重なものである。

その成果物の展示は、子どもたちに大きな夢を与え、観光面でも新たな資源として期待でき

るものと認識しており、今後は、関係機関に正式に要望していきたい。

### 小・中学校における

#### 二学期制の推進を

諸派

【問い】 二学期制の成果と課題および今後の推進は。

【答え】 本年度は、小学校七校、中学校二校で実施しており、継続して課題研究をする学習計画が立てやすいなどの成果が報告されている。

また、課題としては、多くの対外的な行事は、三学期制で計画されており、日程調整に苦労することなどが挙げられている。そのため、本年五月、二学期制実施校連絡協議会を開催し、各実施校の取り組み状況についての意見交換を行ったところであり、今後も定期的に開催していくこととした。

さらに、小・中学校長会と連携し、情報交換を重ねており、今後も、学びの連続性を図り、義務教育九年間を見通した質の高い教育を保証する視点に立ち、施策の推進と充実に努めたい。

# 決算特別委員会

平成十七年度の一般・特別・企業会計の決算は、議員二十六人で構成する決算特別委員会で審査し、賛成多数で認定されました。なお、各会派から決算に対し、総括意見があり、その要旨を掲載しました。



決算特別委員会

## 市民政友会

賛成

一般会計および各特別会計決算では、市税収入に大きな伸びが期待できない中、実質収支額でそれぞれ十一億六百二十三万四千円、六億四千七百六十一万六千円の黒字を計上しており、最少の経費で最大の効果をあげていることに敬意を表する。

南郷サマージャズフェスティバルについては、全市的な取り組みを目指し、複合的開催を視野に入れつつ、運営の透明性向上のため、出演者や音響・照明の契約に入札制度を導入するなどの改善を推進し、また、若者をさらに活用し、地域の活性化となるような積極的な取り組み

を強く要望する。

今後の市政運営は、ますます厳しい財政状況と行政需要が多様化・高度化する中で、効果的・効率的な予算配分が求められることから、予算執行に当たっては危機感と経営感覚が重要であり、市長の手腕に期待し、八戸前進プランに掲げている行財政諮問委員会や市政アドバイザーの答申や提言を踏まえた行政改革の断行と英断をもって、市政運営に取り組みよう要望する。

自動車運送事業では、厳しい経営環境の中、中古バスの購入により車両を更新するなどの抜本的経営改善や、各種ワンコインバスを運行して市民や観光客の利便性向上に努めていることを評価する。

今後は、市営バス事業のあり方に関する方針に基づき、公共交通としての社会的使命を念頭に、市民のニーズを見極めながら、サービスの向上となお一層の経営改善に努めるよう要望する。

市民病院事業では、地域の中心的基幹病院として、住民の生命を守り、健康の保持増進に努めていることに敬意を表すると

ともに、県南で初めて女性専門外来を開設したことにより、良質な医療サービスの提供と体制の充実が図られており、これに期待する。

今後は、市民病院経営中・長期計画に基づき、増収と経費節減に努め、年々増加傾向にある不良債務の早期解消、単年度赤字の削減、累積欠損金の削減を図るなど、経営健全化に取り組みむとともに、医師の処遇改善などの根本的課題にも目を向け、さらなる医療の機能充実と患者サービスの向上を図るよう要望する。

## 政風クラブ

賛成

賛成

に当たり、大変意義があったものと評価する。

一方、歳出では、合併前からの事業継続に配慮したことは、新市民意識の融和や醸成に大きな意義を持つものであり、今後も、新市建設計画の実現に努めるよう要望する。

歳入歳出の財政収支は、一般会計、各特別会計合計で黒字となったが、市民の行政ニーズに対応しながら、引き続き、未済額の回収に特段の努力をし、財政の健全運営を図ることを要望する。

また、沿岸漁業振興や既存施設のさらなる有効活用など、さまざまな意見を今後の予算執行や編成に考慮し、より実現性のある、透明性の高い行財政運営を行うよう要望する。

自動車運送事業では、経営環境が依然として厳しい中、経営の健全化・効率化に取り組み、配置転換による人件費抑制などに努めることで、経常損益では黒字に転じており、今後も、サービス向上などで利用者確保を図りながら、経営改革を進めるよう要望する。

市民病院事業では、県南地域

の重要な基幹病院としての役割

がますます高まる中、女性専門外来を開設し、市民の要望を満たしながら、質の高い医療を目指し取り組んでいることは高く評価する。

今後も、市民病院経営中・長期計画による効率的な経営を図るとともに、患者に対し、さらなるサービス向上と医療の機能充実をより一層図ることを要望する。

## 市民党・市民連合

### 賛成

一般会計および各特別会計決算では、厳しい財政状況の中、社会資本の整備、少子高齢化などに対応した福祉施策の充実、環境・リサイクル・エネルギー施策および農・水産業の振興策などの取り組みは評価する。

しかし、歳出全体の構成比率を見ると、次世代を担う人材育成のための教育費は二年連続して十パーセントを下回り、雇用対策などの労働費はわずか〇・二パーセントであり、市政の先

行きに疑問を感じる。

公債費負担比率および経常収支比率は、望ましいとされる基準値を超えていることから、費用対効果の検証や事業に創意工夫を図るなど、健全な財政運営に向け一層の努力を期待する。

また、高齢者福祉および介護保険制度などの社会福祉の増進、教育行政の充実、公園整備・管理の徹底などについて着実に前進を図るよう強く要望する。

自動車運送事業では、年々乗客数が減少し、営業収益が圧迫される中にあるため、人件費の削減や赤字路線の民間移管などの経営改革を進め、純利益を計上したことを評価する。

また、バス事業は、児童生徒・高齢者など交通弱者の日常生活を支える交通手段であることから、福祉の一環として位置付けることを希望するとともに、労使ともに英知を尽くし、一層の経営改善に取り組むことにより、当事業の存続を期待する。

市民病院事業では、県南地域の中核病院として周産期センター、救命救急医療などの機能の充実を図り、地域に貢献しており、特に医療連携を推進し地域医療

支援病院の承認を受けるなど、広域的な医療水準の向上を図ってきた。

一方、経営面では、経営健全に向け不良債務の解消と収支均衡の達成を目指し努力しているが、退職手当や公債費などの増加により収支の改善が図られなかったことから、さらなる経営努力に期待するとともに、今後も、職員の経営意識の高揚と経費削減に努め、一層の経営健全化に取り組むよう強く要望する。

## 公明党

### 賛成

当市の財政は、歳入の減少や、歳出における扶助費の恒常的な増加により、財政の硬直化が懸念されているが、このような厳しい状況の中、実質収支で一般会計および各特別会計を合わせ、十七億五千万円余りの黒字を確保したことを評価する。

陳情、要望、市長への手紙については、実現した改善事例の公表に向け、検討を要望する。地域安心安全情報共有システ



市営バス

営を望む。

自動車運送事業では、石油製品の価格高騰による物件費の大幅増があったものの、人件費節減などの効果が大きく、純利益を計上できたことを評価する。

今後も、市営バス事業のあり方に関する市の方針に基づき、さらなる改革に取り組むよう要望する。

ム実証実験については、安全情報配信事業も合わせ、その成果を検証し、防災・防犯・消防などの緊急情報ポータルサイトの早期構築を期待する。

身体障害児に対する補装具の無料化については、今後も継続するよう強く要望する。

発達障害者支援体制整備モデル事業については、不適切な対応により、不登校や引きこもりなどの二次障害の問題も現れていることから、乳幼児期から成年期までの各ライフステージに対応する支援体制の整備が進むよう期待する。

全体としては、第四次八戸市行財政改革大綱および八戸市集中改革プランを着実に実行し、時代の変革に対応した行財政運

## 日本共産党議員団

### 一般会計決算に反対、 他は賛成

今後も、市民病院経営中・長期計画に基づき、さらなる経営健全化に取り組むよう要望する。

国は、地方自治体に負担を押し付ける三位一体改革を強行す



市民病院

るとともに、大企業には減税などの利益を保障する政策を推進してきた。

そのため、地方交付税は大幅に削減され、また、市税収入は、配偶者特別控除の上乗せ部分の廃止により増収したにもかかわらず、不況や失業などによる家計収入の落ち込みなどにより伸びない状況にある。

こうした中、一般会計決算の「教育立市」、「海洋立市」、「環境立市」の各事業では、前進したと評価できる面もみられるが、地元産業の育成、農林水

産業の振興に努めるほか、若者の雇用対策、中小企業対策、そして障害者・高齢者対策、子育て支援対策も、さらに力をいれた取り組みを求める。

施策の実施に当たっては、優先度の再検討や見直しを行うとともに、補助金や委託料などについても再検討が必要である。

また、市民の共有財産である建造物管理には注意して保全を図らなくてはならない。

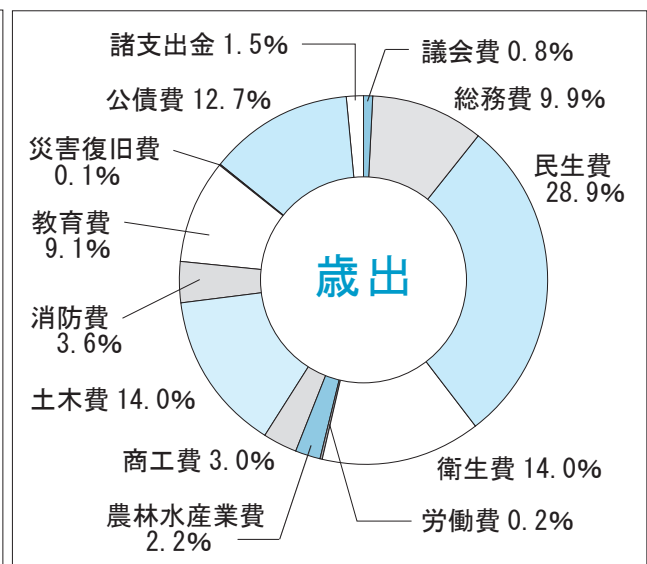
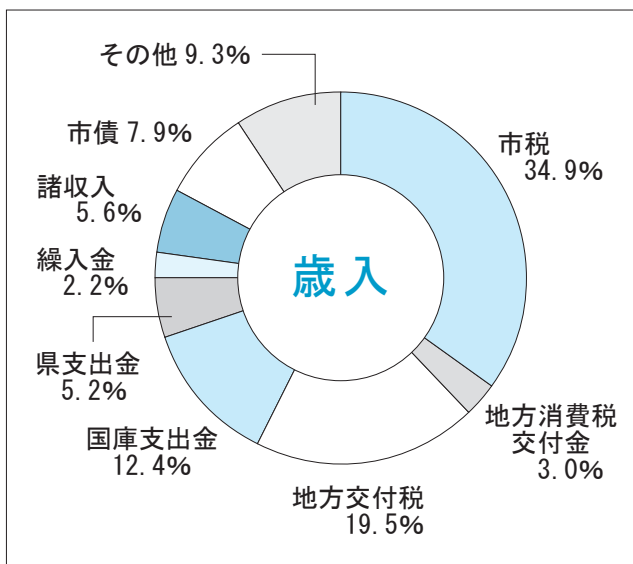
自動車運送事業では、軽油の値上がりなどマイナス要因が多い中、市営バス事業のあり方に関する市の方針に基づき、経営改善が図られ、一定の成果が出ているが、さらに、市民の期待するバス事業とするため一層の努力が必要である。

市民病院事業では、未処理欠損金などが経営に大きく影響しているため、その解消に取り組むとともに、市民病院経営中・長期計画に基づき、地域住民に期待される中核病院として、救命救急医療、周産期医療そして高度特殊医療の機能が、十分発揮できるように、安全・安心を忘れずに、職員一体となった改善を期待する。

## 平成 17 年度決算の概要

### 一般会計

歳入 824 億 1,089 万 4 千円 歳出 810 億 247 万 3 千円



### 特別会計

(14 会計総額) 歳入 705 億 9,116 万 3 千円 歳出 697 億 6,881 万 2 千円

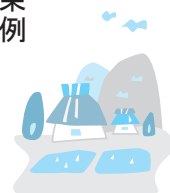
### 企業会計

|           | 収益的収入              | 収益的支出             |
|-----------|--------------------|-------------------|
| 自動車運送事業会計 | 22 億 5,443 万 3 千円  | 22 億 4,944 万 6 千円 |
| 市民病院事業会計  | 127 億 5,738 万 7 千円 | 140 億 8,803 万円    |

# 新たな条例

## ▽八戸市島守田園空間博物館施設条例

地域住民の参画のもと、伝統的な農業施設、美しい農村景観などの保全および復元を行い、魅力ある田園空間を整備するとともに、都市住民との交流を促進することにより、地域の活性化を図るため、八戸市島守田園空間博物館施設を設置し、その管理をすることを目的としています。



# 平成 18 年度 9 月補正予算

一般会計補正額 8 億 2,887 万 6 千円

補正後の予算額 796 億 2,873 万 6 千円

## 主なもの

- e-コミュニティ形成支援事業費……………5,000 千円
- 地域総合整備資金貸付金……………120,000 千円
- 障害者自立支援法関連経費……………286,867 千円
- 湊地区まちづくり事業関連経費……………8,000 千円
- こどもの国大型遊戯施設設置工事費……………42,000 千円
- 都市公園トイレ水洗化工事費……………41,000 千円

# 人事

○八戸市固定資産評価審査委員会の委員に次の方を選任することに同意しました。

葛西文夫氏

○人権擁護委員の候補者に次の方を推薦することに同意しました。

藤田眞佐子氏

本堂勝子氏

藤田久美氏

○本市の教育委員会の委員に次の方を任命することに同意しました。

松山隆豊氏



# 意見書

議員提出議案として、次の意見書を可決し、関係省庁へ提出しました。

▽青森県の「医師需給計画」を策定し、それを実現するための施策を講じるよう要請する意見書

▽道路財源の確保に関する意見書

# 本会議を 傍聴しましょう

本会議は、どなたでも傍聴することができます。

なお、車いすの方は、市庁本館三階議会で、テレビ視聴できます。

九月定例会では、百十六人の傍聴者がありました。九月定例会の会議録は、十二月に発行する予定です。

## 請願・陳情の審査結果

### 不採択となったもの

- ▷「品目横断的経営安定対策」にかかわる請願
- ▷日本と同等の安全対策のない、アメリカ産牛肉の輸入再開に反対する請願
- ▷関税引き下げとミニマム・アクセス米の拡大に反対する請願
- ▷地域農林水産業活性化を図るための「地産地消自治体宣言」を求める請願

### 継続して審査するもの

- ▷医師・看護師等の増員を求める陳情